



令和5年12月1日

川西町議会議長 井上晃一 殿

川西町議会広聴広報常任委員会
委員長 橋本欣一

閉会中の所管事務調査先進地視察調査報告について

令和5年第3回川西町議会定例会において許可された所管事務調査について、
別紙のとおり報告します。

令和5年度 広聴広報常任委員会先進地視察調査報告書

- 1 期 日 令和5年11月7日(火)～8日(水)
- 2 視察先 ①岩手県胆沢郡金ヶ崎町議会
 日時：11月7日(火)午後1時00分～午後3時00分
 住所：岩手県胆沢郡金ヶ崎町西根南町22番地1
 電話：0197-42-2111
 ②宮城県柴田郡柴田町議会
 日時：11月8日(水)午前10時00分～正午
 住所：宮城県柴田郡柴田町船岡中央2丁目3-45
 電話：0224-55-2111
- 3 参加者 川西町議会広聴広報常任委員会
 委員長 橋本欣一 副委員長 茂木晶
 委員 伊藤進 鈴木幸廣 寒河江寿樹 遠藤明子 以上6名

4 調査内容 議会だより編集、広聴活動等

5 先進地視察調査報告

◇岩手県胆沢郡金ヶ崎町議会

①視察地の概要

金ヶ崎町は岩手県内陸南部に位置し、北は北上市、南は奥州市と接している。面積は179.76km²、人口は15,208人(10月31日時点)。

水と緑の自然環境に恵まれた町である。気候は内陸性の気候であり、穀倉地帯を形成している。

業は古くから米作地帯として一次産業の就業人口が多数を占めていたが、近年の割合は減少傾向にあり、米、畜産、野菜の複合経営が行われている。

一方、岩手中部工業団地(金ヶ崎町内)への大手優良企業の立地操業により、第二次、第三次産業の就業人口が高まっており、住宅団地の開発も進んでいる。

②視察対応者

【岩手県金ヶ崎町議会】

役 職 名	氏 名
議長(議会広報発行責任者)	伊藤 雅章
議会広報常任委員会 委員長	阿部 典子
議会広報常任委員会 副委員長	及川みどり
議会広報常任委員会 委員	青木 俊悦
議会広報常任委員会 委員	高橋美輝夫
議会広報常任委員会 委員	及川 権一
議会広報常任委員会 委員	後藤 紳一
議会広報常任委員会 委員	平 志乃

③視察内容

- 議会だよりの編集について
- 議会広聴活動について

【質問事項】

- Q1 すっきり読みやすいレイアウトですが、誰がどのようにデザインしますか。
- A1 町民に興味を持ってもらえるような内容になるよう、委員でアイデアを出し合っています。特に目を引く見出し、疲れな余白の取り方、写真とイラストをバランスよく効果的に配置するなど、最終ページまでめくっていただくような飽きない工夫を町民目線で考えています。
- Q2 縦組み、横組みの構成のコツを教えてください。
- A2 校正の際に委員で意見を出し合い、見やすい紙面になるよう工夫しています。印刷業者にアドバイスを求めることもあります。
- Q3 文章の担当分け、さらに校正はどのように行いますか。
- A3 発行責任者の議長を含め広報委員8人体制で編集を行っており、定例会初日にページ台割表により役割分担をしています。写真については同じ委員が担当しています。校正は委員全員で読み合わせを行い、校正③・最終確認のみ事務局の協力を得ています。
- 【担当割】
定例会初日に台割表により担当ページを割当
- 【編集】
定例会終了の翌日から3日間役場に集まり9時～17時まで作業
- 【校正①】
編集終了の概ね1週間後、役場に集まり委員全員で確認
- 【校正②】
印刷業者と日程を相談の上、役場に集まり委員全員で確認
- 【校正③】
事務局校正
- 【最終】
委員長、事務局、印刷業者の3者で最終確認
- Q4 双子シリーズ、長期連載で素晴らしいですね。それぞれの成長も見れて楽しみです。今後も期待します。

A4 読者の方からもご好評をいただいております。
出演していただける双子ちゃんが途絶えた際は、別のテーマにしたこと
もありましたが双子ちゃんシリーズを継続していけたらと思っています。

Q5 特集はどのように決めますか。

A5 企画・特集記事については、その時の町政課題等、住民が関心を
持っている内容について、発行責任者（議長）と委員が意見を出し合い
検討しています。

Q6 議会トピックスの題材は、どのように取材し、誰がコメントを
作りますか。

A6 前回の発行から今定例会までの間にあった行事のなかで、議会に関連
しているものを掲載しており、各委員が2、3件担当しています。

◇宮城県柴田郡柴田町議会

①視察地の概要

柴田町は、県域を県都仙台市で二分した県南のほぼ中央に位置し、仙台から
25km 仙台空港や東北自動車道村田ICから10数kmの位置にある。

面積は54.03km²、人口は38,271人（10月1日時点）

気候は内陸部であるが比較的海洋性の影響を受け温暖で、県内でも雪の少な
い地域である。

基幹産業は農業だったが、国道4号、JR東北本線、阿武隈急行線などが走
る交通要衝の地の利を生かし、工業・商業を伸ばした。

②視察対応者

【宮城県柴田町議会】

役 職 名	氏 名
議長	高橋たい子
議会広報常任委員会 委員長	加藤 滋
議会広報常任委員会 副委員長	平間 幸弘
議会広報常任委員会 委員	石森 靖明
議会広報常任委員会 委員	伊東 潤
議会懇談会実行委員会 委員	
議会広報常任委員会 委員	吉田 清
議会広報常任委員会 委員	小田部峰之
議会広報常任委員会 委員	平間奈緒美
議会懇談会実行委員会 委員長	
議会事務局 次長	高木 信孝

③視察内容

- 議会だよりの編集について
- 議会広聴活動について

【質問事項】

- Q1 すっきり読みやすいレイアウトですが、誰がどのようにデザインしますか。
- A1 企画会議において決定した担当者が作成した原稿を委員全員に回覧し、チェックやアイデア出しをしています。ユニバーサルデザイン（色・文字など）については印刷業者においてデザインし、初回の公正でチェックしていきます。
- Q2 縦組み、横組みの構成のコツを教えてください。
- A2 右綴じで作成しているため、縦組みが基本になります。見出しや図表、囲み記事などで横組みを採用しています。
- Q3 文章の担当分け、さらに校正はどのように行いますか。
- A3 定例会議の開催期間中に開催する企画会議において、担当者を決めます。届いたゲラ刷をPDF化し、委員のタブレットにアップロードします。事務局職員でチェックし2～3日後に委員全員で集まり、校正を行います。最終校正は、委員長、副委員長、レイアウト（案）提出者、委員1名（輪番制）、事務局で印刷業者の工場において行います。
- Q4 一般質問のスペースがあまりありませんが、QRコードで補足ということですか。
- A4 以前は1ページ当たり2人分の質問と答弁を掲載していましたが、質問者の割合が議員定数に対して多いことから、令和2年11月1発行号から現在のレイアウトに変更しています。どちらのレイアウトでも一般質問の全てを掲載することはできないことから、QRコードによって、議会中継に誘導しています。

6 統括

金ヶ崎町議会広報常任委員会における議会だよりは、「ありのままに解りやすく」をモットーに、議論の中身をかみくだいて編集されている。また、スピード発行を心がけ、議会定例会の翌月第一木曜日には町民の手に渡るように日程を組まれていた。

表紙の写真をシリーズ化し、双子ちゃんが毎号表紙を飾っている。表紙を悩む必要が無く編集作業は軽減されるが、季節感や手に取る楽しみという部分ではやや物足りなさを感じた。

一般質問のページには「議員のつぶやき」と題した吹き出しを付け加え、堅くなりがちな一般質問原稿を少しやわらかく表現されている。議員の率直な気持ちや思いを伝えることができる取り組みであり、ぜひ川西町でも検討していきたい。

特別企画として、他町村との共同編集にも挑戦されている。お互いの町のデータや特徴を紹介した上で、町民の方からの町自慢や町への提言、共同編集先の町ヘエールの言葉などを掲載している。

議会クロスワードパズルのページを設け、応募者に抽選で記念品をプレゼントする企画では、応募時に議会だよりについての感想やご意見を募ることで、率直な意見の収集が可能となったようだ。毎号15～20件、多い時は30件の応募がある。

柴田町議会広報常任委員会における議会だよりは、平成13年2月1日発行号から全ページをカラーにし写真を多く取り入れたこと、ユニバーサルデザインを採用することで、見やすく読みやすい紙面になるよう工夫されている。

町民参加型の議会だよりを心掛け、重要案件には、議会と町民の視点を掲載されている。

質問者が多いことや、どのレイアウトであっても全文を掲載できないことから、一般質問は1ページに3人分の記事を掲載し、QRコードによって、議会中継に誘導している。

「追跡」や「そもそもな疑問」といったページを設け、一般質問で取り上げた内容に関する疑問やその後実施された事例などを取り上げている。

編集作業にあたり、一切のやり取りは電子メールや議員に支給されているタブレットによって行われている。

両議会とも、様々なアイデアや工夫が施されており、町民の皆さんと一緒に作り上げる広報誌を目指して取り組まれている。

また、新人議員は必ず編集委員を担当し、各議員のスキルアップや町民の皆さんの声を反映するために欠かせないものとなっている。新人とベテランが協力することで、若者世代からお年寄り世代まで幅広い「町民の声」を議会だよりに反映していく必要がある。

当議会も委員同士のスキルを磨き、常に向上心を持って編集作業に取り組んでいきたい。この度の視察は大変有意義な研修となった。今後の編集作業に活かしていきたい。

最後に、両議会の広報常任委員会の皆さんには、お忙しい中ご対応いただきありがとうございました。両議会の益々のご発展をお祈り申し上げます。